

鈴木純子様 <http://www.refashion.jp/>

<鈴木純子プロフィール>

一般社団法人日本リ・ファッション協会 代表理事

誰もが自分らしく輝けき幸せに暮らせる社会づくりが人生のテーマ。

16歳で起業家になることを目指し、29歳でITベンチャー企業を開業。

30歳を過ぎたころから東京商工会議所や青年会議所に所属し経済界からの街づくりに参加したり、ひとり親家庭支援のNPOの理事を務めるなど市民活動にも関わる。

2009年に会社経営とソーシャルな活動の経験を活かし、一般社団法人日本リ・ファッション協会を設立。

着るものからのアプローチで持続可能な社会の実現を目指す活動を続けている。

◎これまでの活動内容 一言でいうと「着るものから社会課題の解決をする実証実験」をしています。柱になっている3つは

1. 衣育:一枚の服がどのように作られて売られ、購入した人がどう使い、着なくなったものはどうなるのか。この一連のモノ流れを知ること、私たちはこれからの循環型社会をどう生きるかを学びます。
2. リ・ファッション ラボ:全国から古着を送っていただき、それを様々な社会課題の解決に活用しています。多くは災害地やひとり親家庭向けの支援品になります。そのほかにアップサイクルして新たなファッションを生み出すなどの試みもしています。私たちはこの活動を「愛のリレー」と呼んで大切にしています。
3. ReFashionCaravan:日本の民族衣装である着物を通して文化芸術、アート活動をしています。この目的は、自国の文化を大切にするとともに相手の文化を尊重し合い相互理解を深めることにあります。そして世界が平和になるよう祈りを込めた活動です。

◎。。。になった出来事やきっかけ・・・ ReFashionCaravan を始めたきっかけは、リ・ファッション ラボに全国からたくさんの素晴らしいお着物が集まってくるので、それを多くの方にご覧いただく機会を作りたいと思ったことからスタートしました。着物の魅力は時空を超えて愛されるほど奥が深いと感じています。

私たちの活動目的である循環型社会の日本での良い見本は江戸時代にあります。

江戸時代の着るものといえば着物。着物には豊かな循環型社会を生きる職人の働き方、着る人の暮らしのヒントが詰まっているのです。また着物にはハレとケに代表されるように多様性があります。

リ・ファッション ラボには、着物好きの方がおあつらえで作った晴れ着や日常のおしゃれ着まで幅広く届きます。

それぞれの魅力を多くの方に観ていただくには、通常の着物ショーでは難しいと思いました。ならば舞台劇やアートの要素を欲張りに入れた新しい形のショーで表現しよう！と考えました。

そうしたタイミングで、現在、ReFashionCaravan の製作パートナーとなっているネオ着物スタイリストのミシエル由衣さんと出会い、一緒にステージを創るようになりました。ReFashionCaravan の特徴をご紹介しますと 1つめは、多様性を表すために出演者の半分は外国人にしたり、肌の色や髪の色も多様にし、年齢層を 10 代から 60 代まで幅広くしています。

2つめは、着物は日本の民族衣装だけれど、良いモノなので日本人だけでなく誰もが気軽に着ることができファッション提案としてネオ着物スタイルを取り入れています。

3つめは、世界に日本の文化を知っていただく文化交流を「衣」文化交流として 着物と相手の国の民族衣装を合わせてミックスファッションで表現することです。その他にも楽器演奏や歌、踊り、和髪を結うデモンストレーションなど見どころ満載です。幸運にも、ビックサイトや水上音楽堂、日比谷公演などの大きなステージに出演したり、外国人が集まる六本木のアートイベントに出演する機会にも恵まれ、2018 年には念願のパリで開催される JapanEXPO の大舞台にも出演することができました。お陰様で着物の力を借りて、和心で循環型社会の実現を推進しています。

◎今後の想い 今全世界は、コロナ危機と気候危機にあります。これまでの経済活動や暮らし方を見直す転換にいます。今こそ和心を持って循環型社会の実現を加速していきます。

◎リスナーさんへ届けたいメッセージ 私たちの活動にご賛同いただけましたら リ・ファッション ラボの愛のリレーにご参加ください。服を整理し、着なくなった服を送るだけの家に居ながらできる社会活動です。私たちの活動報告は Facebook などでご覧いただけます。「いいね！」をして応援してもらえると励みになりますので、ぜひご覧ください。

◎繋がる方法は、HP・SNS・ユーチューブ 検索できます！「日本リ・ファッション協会」「リファッションキャラバン」で検索をお願いします。